SDGs達成に向けた取組みチェックリス **更新**　事業者名：三井住友海上火災保険株式会社 熊本支店

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		経営理念を明文化し、社内放送、社内イントラネット等、適時適切に全社員に共有されており、定期的な全社員アンケートで実態把握を行っている。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		社内イントラネット、社内メール等で法令遵守（コンプライアンス）の重要性を随時全社員に向けて発信している。また、内部監査の高度化を中心とした3ラインディフェンスの強化による内部管理体制を構築している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		「コンプライアンス基本方針」「三井住友海上行動憲章」「法令遵守規定」の他、役職員が遵守すべき法令およびその事例解説等を記載した「コンプライアンスマニュアル」を作成し徹底している。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		地球環境・社会貢献室を設け、担当役員を置いている。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		特許、商標等知的財産権を取得・管理している。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		お客さま情報管理に関する基本方針および遵守基準である「MS&ADグループお客さま情報管理基本方針」にもとづき、お客さま情報の適切な取得、利用、保管方法などについて「お客さま情報管理規定」を定め、適正な取り扱いを行っている。さらに個人情報保護方針として「個人情報保護宣言」を定め、HPで公表している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		お客さま、株主、代理店、取引先、社員、環境、地域・国際社会というステークホルダーに対し対話を行い、それぞれとの関係で創出する価値を定め、公表し進捗を確認している。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	人権基本方針に基づき、バリューチェーンを含めた事業活動が、人権に及ぼす顕在的・潜在的な負の影響に責任があることを認識し、人権を尊重する取組を推進している。また、投資家として、責任投資原則の趣旨に賛同し、2015年6月に本原則に署名し、この原則に従って意思決定プロセスにESG課題を考慮した投資活動を進めている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	自社のBCP／BCMはもとより、お客さまのBCP／BCM策定に取り組んでいる。レジリエンス認証を取得している。また、災害や事故への備え提案活動を推進し、適切で十分な保険加入によるリスクヘッジを実践している。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	持続的成長と企業価値向上の基礎となるガバナンス・品質・危機管理について高度化を図っており、事業承継が行われる体制も整えている。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		2017年2月より「MS&ADインシュアランス グループ 人権基本方針」を定めグループ内で徹底している。「（人権方針：あらゆる事業活動において、基本的人権を尊重し、人種、国籍、性別、年齢、出身、世系（門地）、社会的身分、信条、宗教、身体的特徴、障がいの有無、性的指向、性自認、妊娠などによる差別を行わない。）」				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		就業中の自動車事故を防ぐため新入社員、事故多発者への取組や全店一斉点検等を行っている。また精神的な安心・安全が確保されるよう職場ミーティングの実施（毎年7月）や社内へのポスター掲示を行っている。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		パートタイム労働法、労働契約法等、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		2017年度より全社で働き方改革に向けた取組を推進している。マネジメントの強化、「個の力」の強化の両面で取組みしており、家庭と仕事の両立を図るための人事制度改定等も実施している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		社員区分、職務区分に応じた研修体系を整備し実施している（マネジメント研修、課長職、課長代理職、主任研修、新入社員、キャリア形成他）。また各支社における教育機会として「支社トレ」を継続実施することで個々の能力強化を図っている。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		社員一人ひとりが、自身の健康や生活習慣に留意し、明るく楽しく継続して健康づくりができるよう「健康増進取組」と「健康リテラシーの向上」の両面からサポートしている。経産省「健康経営銘柄2019」取得済み。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		「多様な社員全員が成長し、活躍する会社」の実現に向けて、多様な社員の活躍支援、働き続けられる制度・取組の2つの柱で全社員の意識改革に取り組んでいる。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	働き方改革の一環としてリモートワークを導入し、社内研修の原則WEB会議化、フレックス勤務制の導入等を実施している。また、対社外向けのWebセミナー開催や、Webを多用した営業活動を行っている。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	2022年度からスタートした中期経営計画第二ステージの3つの重点戦略の1つとして推進している。具体的にはAIを導入した「MS1 Brain」の活用による委託代理店さまのビジネスモデル変革を推進している他、「ご契約者様専用ページ」の活用を推進している。また、AIやRPAを活用した保険金支払業務のデジタル化、生産性向上や保険販売インフラの革新に取り組んでいる。加えて事故車両損害査定へのAI導入を進めることで業務プロセス自動化によるビジネスモデル変革を図っている。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリス **更新**　事業者名：三井住友海上火災保険株式会社 熊本支店

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		紙使用量削減目標（対前年度比改善）を定めて、進捗を管理している。2019年度（13,093t）、2021年度（10,476t）（▲8.6%）、2022年度（9,813t）（▲6.8%）			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		自社における再エネ発電や再エネ購入等により、計画的に電力の再エネへの切り替えを進めており、再生可能エネルギー導入率を2030年度60%、2050年度に100%にすべく取り組んでいる。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		CO2排出量、エネルギー総使用量を把握し、基準年度（2009年度）に対して、ガソリンによる直接排出を2030年度に▲50%、2050年度にネットゼロを目指し取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		「MS&ADインシュアランス グループ 環境基本方針」において主要課題の一つ に「生物多様性の保全」を掲げ、取り組みを推進している。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		社員食堂等でプラスチック製ストロー・カップの使用を廃止する方針を決め、紙製ストロー・カップに切り替えた。エコバッグ・マイボトルを推奨しており、エコバックを社員に配布するなど、レジ袋やペットボトル等のごみの削減に取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		本社屋上庭園は蓄雨効果にも優れ、都市水害の減災効果がある。屋上庭園だけでおよそ750トンの雨水を貯めることができる。熊本支店においては、毎週白川沿いの清掃を行うなど、環境汚染、水質汚染に配慮した対応を実践している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		eco保険証券（Webでのご契約内容確認サービス）、Web約款を導入するなど紙の使用量削減に取り組んでいる。また、自動車事故の場面において、優良なディーラー・修理工場とのネットワークも積極的に活用して関連業界との協調対応を通じたリサイクル部品の活用促進や部品（バンパー等）の補修活動推進を通して環境負荷軽減に取り組んでいる。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	2019年10月より、駿河台ビルと駿河台新館の社員食堂において、サステナブル・シーフードを導入している。フードロス削減のため、食べきれる分の注文・購入に取り組んでいる。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	インドネシア熱帯林再生プロジェクト等の環境保護活動に寄付している。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	再生可能エネルギーの普及支援のため、太陽光発電設備、風力発電設備向けの損害保険を販売している。一部の自社ビルに太陽光パネルを設置している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	MS&ADインシュアランスグループ環境方針において、主要課題として持続可能な資源の利用を掲げ、森林認証紙の利用推進等、各種取組を行っている。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	損害保険事業の使命である自然災害の防止・減少を図り、環境保全面で世界的な問題である熱帯林の減少問題を改善するために、インドネシア政府と共同で2005年度から「熱帯林の再生をめざしたプロジェクト（ジャワ島パリヤン野生動物保護林）」を行っている。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	社員食堂等でプラスチック製ストロー・カップの使用を廃止する方針を決め、2018年8月に紙製ストロー・カップの使用に切替えている。エコバッグ・マイボトルを推奨しており、エコバックを社員に配布するなど、レジ袋やペットボトル等のごみの削減に取り組んでいる。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	社員の通勤は公共交通手段を利用しての通勤としている。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	NO,23およびNO,24記載の取組に加え、カーボンニュートラルに向けた「e-Gzero運動」（エコカー、グリーン電力、ペーパーゼロ）等を展開し、毎月印刷枚数（白黒・カラー）や削減率等進捗管理を行うなど、2030年目標、2050年目標の達成に向けて各種取組を行っている。＜取組事例＞・リモートワークや在宅勤務の活用など、ビジネススタイルの変　革を推進し、社員の移動やオフィススペースを削減することで、ガソリンや電力の使用量を削減。・社有車の低燃費車両への入替えにより、エネルギー使用量を　削減。・保険契約のお申込み、保険金のご請求手続き、各種お知らせ等　のWeb化によるペーパーレスを推進することで、紙の使用量を削減。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリス **更新**　事業者名：三井住友海上火災保険株式会社 熊本支店

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		迅速・丁寧・正確なお客さま対応による高品質な損害サポートを実現すべく、事故や車検、車両購入時等にお客さまに漏れなく優良なDL・整備工場を紹介できるネットワークや仕組を構築している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		特定非営利活動法人実利用者研究機構より、自動車保険金請求書の「実利用者ユニバーサルデザイン」認証を取得している。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	自治体との包括協定（全国220自治体と締結、2024年7月現在）にもとづき、地域産業振興等を目的として名産品や観光PRを行う地方創生フェスタをWEB開催している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	事故のない快適なモビリテイ社会を構築すべく、営業・事故サポート部門が連携してリスクマネジメント活動を行うとともに、ドラレコのニーズ喚起や高齢者ドライバー対策を実行している。また、災害時の迅速な保険金お支払いを目的としたWeb事故受付を開発し、活用推進しいている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●	2020年度、IoT企業や農林省と連携し、長年の畜産業界の課題を解決しうる保険商品の開発および仕組みを樹立し、生鮮性向上や社会問題解決に貢献している。		2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		各地域のNPO団体、住民とともに、文化財や観光名所のほか、生態系を守るために海岸や河川の清掃活動を行っている（毎週白川沿いの清掃活動を実施）。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		備蓄品の点検・補充や避難行動計画の確認、災害時に備えた安否確認訓練等定期的に実施し対策を進めている。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	スマホ向け無料アプリ「スマ保 災害時ナビ」の無料提供や、グループ会社であるMS&ADインターリスク総研と共同して各種リスクソリューションサービスを提供している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	企業向け火災保険付帯サービス「気象情報アラートサービス」や、グループ会社であるMS&ADインターリスク総研と共同して各種リスクソリューションサービスを提供している。									9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	熊本県内でのSDGs普及活動を積極的に展開し、熊本県・熊本市等とパートナーシップを結びながら県下企業に対するセミナー、個別アドバイス等を通じた、本質的なSDGsの理解の普及に貢献する取組を強化している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25　25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。